

---

# リトルバスターズ！ ～はじまり～

唯 一

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

リトルバスターズ！ ～はじまり～

### 【Nコード】

N7101F

### 【作者名】

唯一

### 【あらすじ】

リトルバスターズ！の初めの部分を書いてみました。

あの、一番辛かった日々。  
毎日ふさぎ込んでいた日々。

そんな僕の前に、四人の男の子が現れて、僕に手を伸ばしてくれたんだ。

「強敵があらわれたんだ！きみの力がひとつようなんだ！」  
そう彼らは訴え、僕の名を訊いた。

「・・・なおえ、りき」

「よし、いくぞ、りき！」

一方的に手を掴んで、僕を引きずるように走り出す。

「ね、きみたちは？」

転ばないように必死についていきながら、そう訊く。

「おれたちか？悪をせいはいする正義の味方。ひとよんで・・・リトルバスターズさ」

歯をにやりと見せ、そう名乗った。

敵は、近所の家の軒下にできた、大きな蜂の巣だった。

まさしく強敵だった。

何度も返り討ちにあった。

挫けかけた僕たちだったが、一番大柄な男の子が突然上着を脱ぎ捨て（なぜかは今もわからない）

陽動用のハチミツを素肌についたり塗ると、

「後は、頼んだぜ」

そう言って、仲間たちに親指を突き上げて見せた後、果敢に敵陣へと突っ込んでいった。

当然のように無数の蜂に群がられた。

それへ残るひとりが殺虫スプレーの先を向け、もうひとりが噴出口の真下にライターを構える。

「まさど、おまえのぎせいは忘れん！」

声と同時にスプレーから火が放たれ、大柄な体がぼう！と燃え上がり、火柱と化する。

「うおおおおおーっ！んなこと頼むかあああー！ー！ー！ー！ー！ー！ー！」

燃えながらツツコミを入れるあの姿は今でも目に焼きついて離れない。

直後、後ろでつまらなさそうにしていた子が、燃え上がる男の子を一蹴りで卒倒させ、

さらに地面を転がるように蹴り続けていた絵も忘れられない（結局そのおかげで鎮火し、彼は助かったのだが）

その後、消防車と救急車が駆けつける大騒ぎになった。

学校では校長室に呼び出され、叱られたりもした。

そこで僕は、彼らの名前を知った。

真人を蹴っていた鈴が女の子だと訊いて驚いたことも覚えている。

それが、僕らの出会いで、そしてそんなお祭り騒ぎのような日々の始まりでもあった。

ずっと、そうして彼らと生きていたら、僕はいつの間にか心の痛みも寂しさも忘れていた。

ただただ、楽しくて・・・

いつまでもこんな時間が続けばいい。

それだけを願うようになった。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7101f/>

---

リトルバスターズ！ ～はじまり～

2010年10月9日20時48分発行